

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじ 第二ユニット	評価実施年月日	平成22年2月1日～平成22年2月20日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月25日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>事業所独自の理念・ポリシーがあり、それを基準にしてサービスを提供しています</p>		<p>運営理念の中に地域に根ざした文言を加えました。理念・ポリシーを常に職員が心掛けてサービスを提供していきたいと思えます</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>エレベーター内やスタッフルーム等に理念を書いた用紙を貼り、常に見れるようにしています。又、年に何回か社内研修の際に理念について確認する場を設けています</p>		<p>これからも研修などで皆で確認する時間を作って、より良いケアができる様努めます</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ご家族の方には入所する際に、伝えていきます。又、玄関やフロア内にも提示しいつでも見られるようになっていきます。運営推進委員会では用紙を配り、皆に理解して頂けるよう説明しました</p>		<p>運営推進委員会で、民生委員の方やご家族に日常の暮らしや理念の取り組みについての報告をしたり、写真を見て頂きながら意見交換しています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>利用者さんと散歩している時や、通勤時に近所の方にご挨拶しています。近くの施設の方々も中庭のベンチに座り休まれたり、近所の小学校の運動会や学芸会、周辺施設の夏祭り等参加させて頂きました。雪明りの雪像作りの際は民生委員の方や、近所の小学生が来てくれて一緒に雪像を作り、ホームで入居者さんと職員と一緒に食べることを食べました。</p>	○	<p>お互い行事に参加する機会を継続し、より良い関係を深めていきたいと思えます</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>近くの施設のお祭りや小学校の学習発表会に参加させて頂いたり、地域の子供達が遊びに来て、歌や踊りを披露してくれた事もありました</p>		<p>運営推進委員会で地域包括支援センターの方や民生委員の方などが来て下さり、地域の活動の写真等を見て頂きながら、意見交換しています</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会にてインフルエンザや呼吸法・便秘についての勉強会を開きました</p>		<p>今後も研修会などへ参加した場合には運営推進委員会を通じてご家族にお伝え出来るようにしていきます。又、ご家族からのご相談なども随時お受けしたいと思っています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員で話し合いを行い、評価後の足りない部分については改善計画シートを作成し具体的な改善に取り組んでいます</p>	○	評価された結果を踏まえて、改善していきながら良い環境を整えていきたいと思えます
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>定期的開催し、意見をご家族や地域の方々から出してもらった事をサービスの向上に活かせるようにしている</p>		自己評価・外部評価について確認させてもらう機会を作り、意見交換を行い、サービスの向上へ活かせるよう努めています
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>小樽市の開催する勉強会やグループホーム協議会に参加しています</p>		今後も勉強会などに参加し、情報交換を行っていききたいと思えます
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>運営推進委員会で、地域包括支援センターの職員より、成年後見人制度についてのお話を聞く事ができました</p>		機会があれば活かしていければ良いと思えます。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修において学ぶ機会を作っています。職員全員がしっかりと学べる様努めています。又、身体拘束廃止委員会を定期的開催しています</p>		これからも社内研修を行い、定期的に学んで、虐待防止の徹底に努めていきます
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入所する以前に契約書・重要事項説明書などの説明を行い、同意を頂いています。不安や疑問点などある際には納得できるまで十分に話し合いを行ないました。退所時にご家族や利用者さんが不安に思っていること等聞いて都度説明を行ないました</p>		これからもご家族・利用者さんが契約に関する不安がある際には十分な説明をして、理解して頂けるよう努めます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者さんの不満気な表情が見られたり、訴えがある時はその都度伺うようにしています。また、ご家族からご本人の情報をお伺いし、解決に向け取り組んでいます。職員と2人でゆっくり話をしたり、ご家族にも相談して、早く解決できるよう努めています		納得いくまでお話ししたり、家族に来てもらい安心してもらっています。利用者さんの思いを受け止め安心して過ごせるよう努めます
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	健康状態や近況は面会された時にお話ししたり、電話でお伝えしています。お金の管理はお小遣い帳を作り、収支を明確にしています。2ヶ月に一度お便りを出し近況をお伝えしています		今後も個々にあった対応を行っていき、面会時などにはアルバムや作品などを見て頂きながら、暮らしぶりを継続して伝えていきたいと思います。ホーム便りも多く発行していきたいと思います
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会簿にご意見が書ける欄を用意し、気軽に書けるようにしています。職員にも苦情や不満などについての相談窓口があることをお知らせしています		苦情が出たら速やかに検討し改善するようにしています
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやフロア会議を定期的に関き、意見交換しています		月に一度は会議を開いて、職員から色々な意見を聞いています
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	職員の人数を一人増やし、業務に支障が出ないように勤務の調整を行ないました		ホームヘルパーを取得している事務職員や、看護師が手伝ってくれることもありました
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	移動については代わる職員と時間を重ねるようにして、利用者さんのダメージを極力少なくするよう努めています		何人も一気に異動することは無いようにしています。レク活動を通じて、異動してしまった職員とも気軽に会える環境を作っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の経験年数により様々な内容の研修に参加させて頂いています。資格所得の為に勤務を調整するなどして、職員の育成に努めています。社内研修は毎月実施しています</p>	<p>○</p> <p>資格取得を勧めて、色々なアドバイスを言ったり、勉強会をしました。今後も社内・社外研修を行い、職員が学べる場を設けたいと思います</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>様々な講習会などに参加させて頂いています。協力関係機関の病院や施設の合同学習会などにも参加させて頂きました</p>	<p>今後も地域の同業者と交流を深められるよう努めていきます</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>業務上の悩みはいつでも話し合えるようにしています</p>	<p>話しやすい環境を作り、ゆっくり話す機会を作りました。また、各フロアのチーフ、管理者などで会う機会を作り相談しやすい環境を作りました</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>それぞれの職員が能力を発揮できるように努めています。段階に応じて研修に参加を促し、学ぶ機会を作っています。また、働きながらヘルパー2級や介護福祉士などの資格所得も勧めています</p>	<p>勤務年数や個々の実績に応じて実践者研修・管理者研修に参加させてもらっています</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人やご家族とたくさんお話する機会を作り、思っている事を少しでも理解出来る様努めています。見学を勧めて、納得された上で入所出来る様にしています</p>	<p>日々の生活の様子から本人が不安に思っている事やこれまで楽しみで行ってきた事など理解出来る様努めています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>時間を作って頂いたり、電話でお話して少しでも不安を解消できるようにしています。</p>	<p>ご家族との関係を密にして会話を増やす様努めています。又、ご本人が納得した入所が出来る様見学を勧めています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	担当者が相談内容を伺い、ご本人・ご家族の気持ちを知り出来るだけ希望に添えるように対応します。他のサービスが適切だと思う時はその様に伝え、相手方のサービス担当者にも連絡するなどしています		ホームに入所する事を不安に思っている方には。納得がいくまで見学して頂き、ご家族・ご本人に、どんな事が不安に思うか、どうして欲しいか等、お話を伺います
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入所する前に見学を進め、ホーム内の利用者さんや職員と顔なじみの関係を少しでも築けるようにしています。皆で気軽にお茶を楽しみながらお話ししたり、行事の参加を勧めています		ご本人・ご家族の気持ちに配慮しながら安心してサービスを受けれるよう対応していきたいと思います
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生の先輩として接するよう心掛けています。家事を一緒に行わせていただき、生活の知恵や経験を教えて頂くという姿勢で接しています		今後も調理に関わる事や、昔していた仕事や趣味などを通じて、共に学び、楽しく関係を作れるよう努めていきます
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日々の暮らしの情報を家族と共有し、行事の参加などで楽しさを共感して頂いたり、面会時や電話の際に本人の様子をお話させて頂いています		ホームで行う行事に来て頂くようお願いしたり、外出や食事など一緒にして頂き、家族と共に支えていく関係を築いています
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居する際に、ご本人・ご家族から教えて頂き、今後も続けていけるよう支援しています		ご本人の希望に沿ってご家族の協力の下で、交流関係を継続出来る様に支援を行ってまいります
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が昔から通っていた美容室や病院はご家族の協力の下継続して利用して頂いています。携帯電話をお持ちになられている方もおり、いつでも連絡が取れるようにしている方もいます		ご本人の希望に沿って支援していけるよう、ご家族に協力して頂き、共に支援していきたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個人の生活・性格に配慮しながら、個々のペースに合わせた対応を行っています		利用者さん同士がスムーズに会話出来る様、職員が会話の橋渡しを行ったり、家事や余暇活動の際に職員がきっかけを作り、お話しやすい環境を作っています
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院などをした際にも、お見舞いに行っています。終了時も相談事があった際には応じています		退所が決定するまでは、病院やご家族と連絡を取り合い、ご本人の様子や状態を教えていただいています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向はその都度伺うようにしています。入所時に本人やご家族から生活歴を伺いその人らしい生活が続けられる様支援しています。		個別のケアが出来る様職員間で話し合いを設け、趣味活動も続けられる様支援しています
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族に、生活歴や趣味、今までにどんなサービスを利用していたのか等教えてもらい、フェースシート・インフォメーションシートに記載しています。その人らしい生活が送れるよう支援しています		聞き取りした内容を申し送りで職員間に伝え、共有しています
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの一日の流れを把握し、声掛けや見守りを行いながら心身の状態を確認しています。出来る事は無理の無いように続けてもらい、残存能力の活用に努めています		毎日のバイタル測定で健康状態の変化に早期発見出来る様努めています。身支度や歯磨きの習慣なども無理なく行えるよう支援しています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	利用者さんに合う介護方針が立てられる様に、状況の変化を把握し、ご家族・ご本人に意見を伺い、アイデアを出し合いながら作成しています		担当者会議で担当職員と話し合ったり、ご家族・ご本人から意見を伺っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>今後も記録の充実に努め、ご家族の意見を伺って、意見を取り入れたプランを作成していきます</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>申し送りノートを使い、情報を交換し、具体的にどうすれば良いか取り組んでいます</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		<p>今後もご本人・ご家族の状況に応じて、柔軟な支援を行えるよう努めています</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>		<p>今後もご本人の意向に応じて地域の方に協力してもらいながら支援していきます</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		<p>居宅サービス事業所からは入居相談などがあります。ケアマネージャーにもホームの見学を勧めています</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		<p>地域包括支援センターの職員が運営推進委員会に参加していただき、成年後見人制度について説明してきてたことがありました。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	定期的にホームの看護師が巡回に来られ、状況を把握しています。病院について、今まで通っていたところを継続するか、協力病院へ転院するかはご本人・ご家族に確認をとり納得できる受診が行なえるよう努めています		今後も個人に合わせた病院を受診できるよう支援します。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	病院へ行った際に細かい事でも相談をしています。診察や検査が必要なら対応も行っていきます		協力病院へご家族が同行し、主治医からお話を受ける事もありました。診察する際に時間を優先してくれる事もありました。他の病院への紹介も行なってくれました
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所内に看護師がおり、定期的にフロアを診にきています。協力病院の看護師には小さなことから相談に乗って頂いています		医師との橋渡しの関係をしてくれています
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	定期的に病院・ご家族と連絡を取り合い、情報交換している。お見舞いにも足を運び、職員の手で確認させてもらう事もありました		今後も病院・ご家族と連絡を取り合い、早期に退院できるよう努めます
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご家族と主治医とで話し合う場を設けて、方針を決めています	○	重度化や終末期に向けての指針を検討中です
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	掛かり付け医と相談し、ご本人・ご家族の意見を尊重した上で方針を共有しています		今後も利用者さんがより良く生活出来るよう支援していきます

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>徐々に慣れていけるように見学に来てもらってお茶を飲んで頂いたり、催し物の参加も促しています。情報交換を念入りにしてスムーズに入居出来るよう努めています</p>		<p>本人やご家族の希望に沿うよう今後も情報交換をしていきたいと思ます</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>記録は一人ひとり別の用紙に記入しています。言葉掛けや対応など気をつけ、人生の先輩として失礼の無いように心がけています</p>		<p>記録はご本人が話したことをそのまま記録するようにしています</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご自分で決定しやすいように話しかけたり問いかけをしています。その人に合わせた言葉掛けをしています</p>		<p>ご本人の思いが伝えやすいように、場所や人を変えています。趣味や美容室の利用など利用者の希望を取り入れた支援を行なっています</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に出来るよう、なるべく希望に添って過ごせるよう支援しています</p>		<p>入浴は個人のペースに合わせてゆっくり入られています。食事も個々のペースに合わせて、時間をずらしたり量を調整し、無理せず美味しく召し上がれるよう支援しています</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>昔から通っている美容室に行ったり、出張理容を利用しています。外出する時や何かの行事の際には皆でお化粧をしておしゃれを楽しまれています</p>		<p>以前からの美容室を継続できる様、職員が付き添う事もありました。季節や外気温に合った服装をしているか見守りさせて頂き、時にはアドバイスをさせて頂きました</p>
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>職員と利用者さんが一緒に食卓を囲み楽しく食べられるように支援している。何が食べたいか尋ね、工夫して調理しています。ランチオンマットもその日の気分で利用者さんが変えられるように2～3種類用意しています。利用者さんが出来る事は出来るだけ行なって頂けるよう支援しています</p>		<p>苦手なものが出る際には違う物を提供し、バランス良く召上がっていただきます。ご自分からキッチンに来られ、進んで手伝ってくれる方もいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	希望に沿うように配慮しています。飲み物やおやつ等ご自分が好きな時に飲まれて楽しまれています		現在はいませんが、煙草やお酒を希望される方がいたら、本人の体調に気を配りながら楽しめるよう支援していきます
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行ったり必要時には声を掛けさせて頂きます。なるべくトイレで排泄できるよう努めています		職員二人で介助してトイレで排泄している方もいます
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	個人の希望に合わせてゆっくりと入浴を楽しめるよう支援しています。本人の希望により一人で入られる方もいます		浴槽に入る時間は本人に合わせていますが、体の負担を考え声を掛けさせてもらう事もあります。希望により一人で入られる時は事前にご家族に了承を得ています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の様子や個人の生活リズムを把握し、ゆっくり休息できるよう支援しています。又、夜間の巡視で安全の確認を行い、ゆっくりと休めるよう努めています		夜勤者からの申し送りや記録にて睡眠パターンを把握しています。リビングでテレビを見ている方や、自室で本を読まれている方など生活のリズムを知り大切にしています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの生活歴を知り、趣味や得意なものを進んで行えるよう、支援しています		家事の得意な方には食材を切ったり味付けをして頂いたり、歌の発表会に良く参加されていた方には皆の前で披露してもらっています。今後も役割や楽しみを取り込んでいける様支援します
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人が希望された時にはご家族と相談して所持して頂いています		どこに置いたか分からなくなってしまう事もあるので、ご家族と相談しながら対応しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご家族の協力の下外食をしたり、ご自宅に戻る機会があります。ご家族があまり来ない方は職員と散歩したり、近くの小学校の行事や収穫祭に参加する事をお勧めしています		状態に応じて車椅子を使ったり帰りは車を使ったりと負担を少なくしています
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	花見や紅葉狩りなど計画を立てています。学校行事に参加したり、複合施設の夏祭りへ行き、交流を深めながら季節の行事を楽しまれています	○	外出する機会が多く持てるよう努めて行きます
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	フロアの電話はいつでも使える状態なので、いつでも掛ける事が出来ます。本人や家族の希望により携帯電話を持っている方もおり、いつでも会話を楽しんでいます。お手紙のやりとりも行えています		ご本人の気持ちに添った支援をしていきたいと思えます
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ホームの催し物などがある時にはお誘いしています。居室でお茶を飲みながらゆっくりお話されています。職員の挨拶も徹底し、暖かい雰囲気を作っています	○	いつでもご面会に来て頂けるようにご家族・ご友人・ご本人に伝えています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を定期的開催しています。社内研修でも定期的に学び、再度確認してもらっています		実践者研修の参加も再度申し込みを行っていきたく思います
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中鍵は掛けておらず、階段を歩き来しています。夜間は防犯上、施錠しています		夜は遅番が退社後に掛けています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者さんの所在や様子は職員間で声を掛け合い、把握して安全の配慮を行っています		利用者さんの所在・様子を把握しながら安全の確認を行っています。自室で過ごす事が多い時には訪問させて頂き、様子を確かさせて頂きます
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	基本的には注意の必要な物は職員が責任を持って、保管・管理していますが、ご本人の希望で状況に合わせてお渡ししている方もいます		入所時にご家族と本人に説明し、了解を得ています
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止の為、定期的に研修を行っています。マニュアルも作成しています		今後も急変や事故発生時に、すぐ対応出来るように繰り返し社内研修で学習していきたいと思います
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救命救急の講習や研修を、消防の協力の下行っています		消防の協力をもらい、救急救命の講習を開催しました
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練・自主訓練・夜間避難訓練を行っています。隣接するグループホームと協力し安全に避難できる体制を整えています		運営推進委員会においても協力を得られるように努めました。今後も避難や救助できる方法を身につけていきたいと思います
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族には、精神的・身体的な面での変化などあった際にはすぐ伝え、一緒に考えて頂いています		ホームでの生活の様子や体調などを、面会時や電話にて伝えていきます
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	健康状態を把握し様子の違いに気づけるよう努めています。利用者さんの情報は職員間で共有し、早い対応が出来るようにしています		毎日バイタル測定を行い、記録しています。歩行状態や食事量等チェックし、いつもと変わりはないか確認しています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬が処方された際に薬の内容や、副作用を確認しています。一人ひとりの薬箱を用意し間違えの無いようにしています		薬を服用する際には名前・日付を口に出してからご本人に渡す事で間違いなく服用して頂きました
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	お腹の体躁をしたり、牛乳やヨーグルトで水分を摂ってもらい、なるべく自然に出るよう努めています。排泄表を用いて、排便の状況が把握できるよう努めています		便秘が続く時は主治医に相談し、便秘薬の調整を行いました
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	起床時・毎食時に歯磨きをして頂いています。必要な時には少しお手伝いして、清潔を保てるようにしています		歯科衛生士の資格を持つ者がいるので、相談する事もあります
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量は介護記録に記入し、把握できるようにしています。食欲がいつもより少ない方や、飲み込みがあまり良くない方など個々の状態に合わせてとろみやミキサー食などにして対応したり、口当たりの良い物を出したりしています		嚥下状態の低下を防ぐ為口腔体躁を取り入れています
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員・利用者共に毎年インフルエンザの予防接種を受けています。外出後には手洗いうがいをしています。感染症マニュアルを作成し、社内研修に取り入れています		感染予防の為生姜茶を飲んだり、緑茶でうがいをしました。感染症が出た時に備えて処理する道具もすぐ使えるように整えています。運営推進委員会においてもお話をさせていただきました

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所のシンクや器具は毎日消毒しています。賞味期限の確認を行い、鮮度の良い物を使用しています		冷蔵庫内の消毒も定期的に行っています。包丁やまな板は使った都度消毒しています
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関には観葉植物を置き、暖かい雰囲気を出せるようにしています。中庭の畑にはお花や野菜を植えたり、建物の横に看板を立てて、すぐ分かるようにしています		散歩の際に、中庭に設置しているテーブルやベンチを使ってくれる近隣の方もおり、お茶を飲みながらお話されている事もあります
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の飾りつけ(雛人形・クリスマス・お正月)を行い、季節感を出せるように配慮しています。不快な音や光がないように、カーテンを閉めたり、ドアの開け閉めを行って職員が調整しています。毎日掃除を行い、快適に過ごせるよう努めています		食事も旬のものを取り入れました。今後も快適に過ごせる様な空間作りに努めます
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂やフロアー・居室は自由に使って頂き、思い思いの過ごし方をして頂いています。玄関の椅子に腰掛けて外を眺めている人もいました		1・2Fは自由に行き来されており、気の合う物同士でおしゃべりを楽しんでいます
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には馴染みの物や家具等をなるべく持って来て頂き、快適に過ごせるよう支援しています		置物や写真なども以前から愛用しているものを持参されています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度や湿度計を設置して、適度になるように暖房を上げたり、濡れタオルをフロアに掛けて調整し、湿度の減少を防ぎます。掃除の時には窓を開け、空気の入替えをしています。においが気になるようであれば換気扇を回しています		においの対策として換気のほかに木炭を置いたり、消臭剤を個人で持っている利用者さんもいます
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	廊下や階段等には手すりが設置しており、本人のペースでゆっくり歩けるよう配慮しています。床はバリアフリーになっています。浴室・浴槽には滑り止めマットを使用し、無理なく移動ができています		安全に自立した生活を送れる環境作りに努めていきます
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	食卓テーブルや居室に名前を貼り、確認できるようにして混乱しないようにしています。利用者さんが出来る事とできないことを見極めて出来ない事は一緒に行い自立に向けての支援を行っています		安心して自信を持った生活を送れるよう職員と一緒に炊事や洗濯、掃除等1日の活動の中で無理なく楽しく行って頂きます
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭では景色やお花を眺めたり、野菜を収穫しています。天気の良い日は中庭で喫茶店を開催し、他のフロアの利用者さんとの交流を図りながらお茶を飲んで楽しまれています。ホーム周辺にはウサギ小屋もあり、散歩がてらに見に行ったりして楽しまれています	○	中庭には地元の小学生がお祭りの時にお神輿を担いで着てくれたり、冬の雪明りの路に参加した際には、地域の小学生や民生委員の方々が手伝いに来てくださり、一緒にオブジェ作りを行う等、楽しい生活の場となっています

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない ②
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない ②
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)周りは緑に囲まれ自然いっぱいです。中庭の畑には野菜を作っており、皆さんと一緒に収穫をして楽しんでいます。家庭的な雰囲気作りに努め、皆さんでのんびりと安心して暮らせるように努めております。又、地域の方との交流を図り、地域に密着したグループホームを目指しています